

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

ボランティア宅本便
 皆さまのご自宅に眠っている本・CD・DVD・ゲームなどはありませんか？
 東京都日中友好協会はブックオフオンライン株式会社のご協力で「本で日中友好促進！」事業を行っています。詳細は→
<http://www.jcfa-tyo.net/iin/zaisei/takuhon/>

リニューアル第12号(平成30年11月1日発行)付録
 発行:認定NPO法人東京都日本中国友好協会
 所在地:〒113-0033
 東京都文京区本郷3-4-5 ハイムお茶の水702
 ☎ 03-3295-8241 ☎ 03-3295-8255
 ホームページ:<http://www.jcfa-tyo.net>
 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net
 編集・発行:広報委員会 編集人:森山光伸

寄付金、ありがとうございます。
 4面にお名前を記載しました。

2019年度版友好手帳発売開始

日中関係や中国に関する様々な資料が満載。表紙色:黒・赤の2色 価格:会員800円/一般900円(送料別)

お申し込み、詳細は上記の東京都日中事務局まで

第3回東京日中友好議員連盟協議会訪中団報告会開催

7月23日～26日まで北京市人民対外友好協会と中国大使館の支援で北京市・天津市を訪問した東京日中友好議員連盟協議会の報告会が、9月12日、中国大使館にて、汪婉大使夫人、邵宏偉一等書記官ら臨席のもと行われた。冒頭、汪婉夫人から「2016年12月訪中団から昨年の3月の協議会発足、そして東村団長を中心とする今夏の訪中団と双方の議員交流の輪が広がり、正に行政・議員・民間の三位一体が着実に推進されていることに感謝します」とお言葉を頂き、当会 宇都宮会長の御礼挨拶、引き続き団長の東村邦浩議員から「4日間の訪中は酷暑や100年に一回の大雨で一行のバスが洪水で立ち往生になりつつ対友協のガイドさんやバス運転手のご尽力で乗り切り、大変、都議会及び各参加された区議会の方々にとって充実した視察ができました」とのご報告。視察した場所は「天津濱海新特区図書館、天津貿易人民委員会、天津市都市計画館、都市計画館周辺、五棵松体育館（北京オリンピックバスケボール会場→アイスホッケー会場等への再利用）北京市都市計画館等」。当日、出席された計18人の議員の方々も中国のスケールの大きさと利ビックという国家行事に効率性と民間利用している点を東京と比較して、非常に勉強になったと個々に発言がありました。次回は4月に統一地方選もあり、2019年10月に実施する予定。又、当協議会の総会及び講演会は12月下旬実施の予定。(事務局 松尾)



第3回東京日中友好議員連盟協議会訪中団報告会

王^{おうは}覇

熟成ならではの
 深い旨味とまるやかさ



七日以上じっくり熟成させることで、豚肉の旨みを十分に引き出した特定JAS規格。しっとりとしたやわらかさと、熟成によって生み出された豊かな旨味をお楽しみいただけます。



確かのものを、贈りたい。

贈答品・景品

年間を通じてご用意いたします

丸大食品株式会社

東日本特販課

☎ 03-3647-3270

担当: 橋本 康弘

第5回錦秋の夕べ、盛大に開催

10月11日(木)中国大使館の中庭で盛大に錦秋交流の夕べが開催された。招待者として、小池百合子 都知事、特別区会長 西川太郎 荒川区長始め特別区長、東村邦浩 東京日中友好議員連盟協議会会長始め都議会、各区議会の方々、在日華人各種団体、都日中役員及び青年委員会委員、法人会員ら約200人が参集した。

冒頭、程永華 大使から「大使として、赴任してから、間もなく9年間になるが、日中関係はいくつかの困難を乗り越えて、今月の安倍総理の訪中にこぎつけて改善の道筋が付いたのも本日、お集まりの皆様、政・官・民の三位一体が交流の輪を広げていただいた結果と感謝の意を表しました。」次に二度目の参加の小池百合子都知事が「今年の日中平和友好条約締結40周年、そして、来年の東京都と北京市友好都市締結40周年、再来年の東京オリンピック/パラリンピックと日中関係の大きい行事が続く中で先月、陳吉寧 北京市長が来日され、首都同士の共通課題「都市問題、介護問題等」を双方の知恵で解決していきましょうと約束しました。」と挨拶された。その後、北京市石景山区人代常任委員、李文起団長の挨拶、宇都宮会長の乾杯があり、和やかに夜が更けるまで大使館員、北京市各区の人代の方々を交えて友好を深めていた。



第5回錦秋の夕べ

今後は大使館側の意向で招待者も北京市人代常任委員と東京都議会、区議会との交流にシフトしていく予定の由。(松尾)

第36回全日本中国語スピーチコンテスト東京大会開催

10月14日(日)、渋谷区日中友好協会の協力のもと渋谷区リフレッシュ氷川で「第36回全日本中国語スピーチコンテスト東京大会」を開催された。

57名の応募があったが、本選には45名が進み、当日43名の方たちが朗読の部、弁論の部でそれぞれ日頃の成果を競い合った。

山下輝彦先生(慶應義塾大学名誉教授)、張蕾先生(日中学院専任講師)、李軼豪先生(中国国際放送局東京支局支局長)の厳正な審査の結果、全国大会には、

- 朗読の部B—中学生・高校生部
最優秀賞 荒殿一花さん(広尾学園高等学校)
- 朗読の部B—大学生・大学院生部
中国大使館賞 鈴木ひかりさん(大東文化大学)
- 弁論の部—高校生部
最優秀賞 橋本真那さん(文教大学付属高等学校)、
- 弁論の部—大学生・大学院生部
北京市人民対外友好協会会長賞 高嶋一希さん(神田外語学院)
- 弁論の部—一般の部
東京都日中友好協会会長賞 天野日向子さんの推薦を決めた。
朗読の部Aにおいては
- 基礎部門—林鑫欄さん(神田外語学院)
- 応用部門—志関洋子さん(神田外語学院)



参加者と審査員の先生方と記念撮影

- アナウンス部門—江藤聖也さん(東京外国語大学)が最優秀賞を受賞された。
審査員の先生方は、やはり基礎力の高い方が入賞となるとおっしゃっていた。
審査員各位、後援、協賛をいただいた皆様に感謝。

第21回東京都日中友好囲碁交流大会&懇親会

第1部 日本チームと中国チームの対抗戦(各30名程度)
日時:2018年11月17日(土)
12時30分(受付)13時~17時10分
会場:日本棋院1階ホール(千代田区五番町7-2)
JR総武線「市ヶ谷」駅下車2分
TEL:03-9288-8840

第2部 懇親会
日時:2018年11月17日(土)17時40分~19時10分
会場:日本棋院1階ホール
会費:3,000円(第一部込み)受付時に徴収
参加希望の方は、お名前・ご住所・連絡先(携帯)段位(初段以上の方)を明記の上、FAX(03-3295-8241)若しくはメール(to-nicchu@jcf-a-tyo.net)でお申込みください。

第5回日中親善ゴルフ大会

日時:2018年11月17日(土)集合:8:30(ゴルフ場受付)
場所:おかだいらゴルフリンクス
アクセス:圏央道稲敷ICより12km
定員:32名(8組)※先着順で締め切らせて頂きます。
参加費:24,000円(プレー代、昼食代、パーティー代、賞品代含む)
スタート:9:45アウト・インスタート
大会方法:新ペリア方式
表彰式:コンパーム(参加・不参加に関わらず景品のご提供は大歓迎です)
主催:認定NPO法人東京都日中友好協会
全日本華人華僑労働組合総連合
後援:工学院大学孔子学院/一般社団法人東京華僑総会
参加希望の方は、お名前(フリガナ)、性別、生年月日、連絡先(携帯)、平均スコア、交通手段などを明記の上、都日中事務局までお申込みください。

中国語普及委員会 中国語夏期ワンデーレッスン開催

9月2日(日)、東京都日中友好協会主催の『2018日中友好中国語夏期ワンデーレッスン(東京会場)』が渋谷区日中友好協会ご協力の下、渋谷区リフレッシュ氷川で開催。

- 基礎クラス【中国人に質問に答えてみよう!】島村泰子 老師・展偉静老師
- 初級会話クラス【「听・说・读・写・译」総合力を高める初級編】高立新老師
- 中級クラス【志願者-我们与2020东京奥运会同行!!】張汀老師

をテーマに3クラス25名の受講生が集まった。

基礎クラスは、文例を学んだあと老師の中国語の質問をしっかり聞いて、答えるという授業で、教科書を読み書きする授業ではなく、会話の楽しさを体験する授業だった。

初級クラスは、発音の確認、听力、中国語での自己紹介、中国の今の文章を読む、感想を書く、剪紙を作るなど中国文化を含め多方面から学習。

中級クラスは、オリンピックの基礎知識から始まりボランティアの理念、東京の見どころ、とっさの対応など、オリンピックボランティアのためのスキルを学ぶことができた。

3クラスとも、皆さん熱心に1日のレッスンを終了。



ワンデーレッスン基礎クラスの授業風景

青年委員会 夏合宿レポート

この度、8月18日(土)19日(日)に一泊にて青年委員会で夏合宿に行きまして参りました。

今回は、「三年に一度のアートなイベント『大地の芸術祭』に参加し、地元の方との交流する」というテーマで、新潟県十日町へ。「大地の芸術祭」とは三年に一度開かれる芸術の祭典で、廃校になった学校や民家を丸ごと芸術に変えた作品をはじめ、数多くの作品が展示されています。また、日本の作品のみと思われがちですが、外国の方が作り上げた作品も多く、訪れる方はもちろんボランティアとして台湾の方が参加されるなど国際色豊かでした。合宿メンバーの中にも中国人女性がいたこともあり、今後、新潟を活性化させるかは中国の方の関心や興味が大きく影響すると語る地元民の方々との交流会は有意義なものとなりました。日本と中国の架け橋として活動している私たちが間を取り持ち、地方のことも知ってもらわなければならないという課題を見つけた青年委員会メンバーは、これからも地道に活動を続けます。(青年委員会 野村芽衣)



青年委員会 夏合宿

日中友好協会(東京都日中)「経済ビジネスクラブ会議」

11/30(金)18時半神田で開催! ビジネス仲間と交流会&半歩早い忘年会! 熱意のある方、BIZを目指す方、参加者募集!

日時 11月30日(金)18時半開始(17:55 受付開始)

場所 千代田区神田錦町 1-4 日中友好会館 3階

参加費 無し 但し、会議後半の交流会での飲み物代として一人200~300円。(特別企画の場合、500円となる場合も、当日、受付にて承ります。缶ビールまたはソフトドリンクの希望を事前にメール、微信、FB等で事前に連絡ください。

募集年齢層 10代~90歳の健康な方・東京都日中「経済Bizクラブ会議」趣旨に賛同いただける方

議事・議題等 東京都日中事業等 総括・計画・主役は「本日の参加者!」全員紹介(自己紹介一人90秒程度)

問合せ等 「経済Bizクラブ」事務局 窓口:(微信ID)tourism9098 都日中渉外部:akisawa 宛 又は都日中事務局: to-cchu@jcfa-tyo.net 宛へ(①名前②所属③職名④メールアドレス、⑤携帯番号 ⑥業種)及び⑦しごと・業務アピール 100文字以内 ©既に登録済みのかたは①~⑥記載不要 *mailは極力 G-mail 以外 希望(中国内で原則不通のため)

日中友好青年大使が済南市を訪問

9月4日から8日まで山東省済南市における第3回国際湧水文化景観国際連盟会議に東京都日中友好協会の中野修常務副会長を団長として、日中友好青年大使2人を含む6人が参加した。

会議では、日本における湧水の活用状況を多摩大学の中庭光彦教授が報告した。

本会議は、アメリカ、イギリス、エチオピア、タイ、南アフリカ、韓国等世界各国からの市長、議員などが参加している会議で、それぞれの国の湧水の活用状況について情報交換を行った。その後、趵突泉、大明湖など済南市の湧水活用施設の見学等を行った。

済南市は泉の都(泉城)として有名で、湧水はそのまま飲むことができる。ただ、近年の都市開発の影響を受けて、湧水に含まれる物質の変化があり、その対応が急がれている。

また、湧水を直接酌むのではなく、飲用の水を取れる場所を100か所ほど建設予定で、湧水を活用したまちとしての整備を進めている。

本プログラムは昨年3月の大学生訪中団で訪問したのをきっかけにはじまったもので、その際に参加した団員が東京都日中友好協会の日中友好青年大使として参加した。

大学生訪中団に参加した後も継続して協会に関わり続ける活動の一つとして位置づけられ、このような活動が今後も増えていくことが期待される。

また、昨年本プログラムへの参加をきっかけに、東京都



日中友好青年大使 済南市訪問

日中友好協会から済南大学へ学費免除の奨学生として年間2名派遣できることとなっており、第1号として中野副会長が本プログラム終了後から1年間留学することになっている。

西東京市日中 第3回中国語スピーチコンテスト

9月29日、武蔵野大学孔子学院・第3回中国語スピーチコンテスト(当協会協賛)が有明キャンパスで開催された。

今年のテーマは「楽しい中国語、歓迎オリンピック」2020年のオリンピックに向けて中国語人材の育成をめざしている。

開会の辞は饒殿武・孔子学院長、続いて来賓代表として中国大使館教育部・呉明書記官の参加学生に対する激励の挨拶があり、明るい雰囲気の中、コンテストが開幕した。

審査委員は孔子学院から3名、民間から3名(西東京市日中を含む)の構成で審査委員長は昨年に引き続きベテランの元都日中副会長・西園寺一晃氏。

コンテストは最終選考を経た高校生6人と大学生6人の2部構成。

スピーチ内容は自らの中国語能力を生かし、2020年東京オリンピックに貢献したいという内容が多かった。

このスピーチコンテストは弁論以外に中国知識問答を行うのが特徴で、難問を容易く答える参加学生たちに客席から驚きの拍手がなり響いた。

結果は高校生の部優勝は創価高等学校・南口舞、テーマは「学習漢語的樂趣」。孔子の言葉の学而編「学んで実践できることは楽しいこと」「友が遠方からやってくることは実に嬉しい」をオリンピックに結びつけた見事な論述構成でした。

西東京市日中友好協会賞は伊奈学園総合高等学校・木村千恵「懸け橋の一つとなるために」。自らの実体験からよりよい日中関係を模索した。

大学生の部優勝は、武蔵野大学・山本優美「チャンスをつかめ」。中国人との積極会話を勧めるアクティブな言動が印象的だった。



西東京市日中 スピーチコンテスト

友好協会賞は、武蔵野大学・小関涼太「運動促進日中交流」。言葉の流暢さで高評価された。

講評は審査委員長西園寺一晃氏、閉会の辞は学院人気の孔子学院本部派遣院長・劉勇氏。

閉会后、会場を移して学院関係者、来賓、学生の懇親会がにぎやかに開かれた。

2018.10.11日現在寄付者名簿(順不同、敬称略)

(株)ミッファーゲン製菓、(株)新橋亭、栗山眞之、呉東富、小泉勤次、大井恵美子、小沼亨、神谷日出男、川本淳子、對馬テツ子、明戸真弓美、広田貞治、貫洞由里子、杉本一郎、向山たつ美、岡嶋昭治、泉実吉、丸山隆司、林明、安部東明、石田昌三九、坂口光治、尾崎隆信、三枝英夫、鈴木宏昌、榎本英雄、桑本英雄、笈川耕一、桑ヶ谷森男、渡辺康生、戸枝大幸、牧田和也、馬淵由季子、依光恒治、関根志奈子、清水正敏、田島憲二、榎本喜久子、後藤雅子、末廣綾子、吉田幸雄、大塩晃雄、野呂恵子、竹花光政、竹花富美子、(株)ジャパンエンタープライズ、岡崎雅彦、高野勇一、水上徹男、中条商事(株)、尾崎富雄、永田哲二、永田恵子、鈴木静香、千葉公子、井垣清明、柳田昌男、犬飼修造、百田弥栄子、伊藤春雄、河村昭寿、栗田秀子、片岡健、田一輝、椎津順一、大鳥やすたか、小山三喜雄、直江昌則、木村誠次、高野慶市、松原秀典、石橋仁之、莫邦富、藤木光正、金久保綾子、中野修、宮崎幸夫、松原忠義、二ノ宮啓吉、JR 東労組東京地方本部、杉本孝一郎、大島勤、白石克人、池玉東、並木秀夫、坂田和子、古島琴子、池田禮子、海老澤ひさゑ、奥真理子、町田文子、町田忠昭、斎藤成、田中館多美、小穴源太郎、泉屋淑子、荒井和子、大矢爽治、佐藤勝、木下伸子、(有)ツツキクリエト、鴨志田リエ、橋本准子
ご協力ありがとうございます。